

第1章 総則

(目的)

第1条 目白大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び建学の精神に基づき、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力をそなえ、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びに実施体制については、別に定める。

第2章 組織

(学部・学科)

第3条 本学の新宿キャンパスに心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部及び外国語学部を、さいたま岩槻キャンパスに保健医療学部及び看護学部をそれぞれ置く。

2 前項の各学部には置く学科並びに入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
心理学部	心理カウンセリング学科	125名	—	500名
人間学部	人間福祉学科	100名	10名	420名
	子ども学科	140名	10名	580名
	児童教育学科	50名	—	200名
社会学部	社会情報学科	120名	5名	490名
	地域社会学科	80名	5名	330名
メディア学部	メディア学科	140名	—	560名
経営学部	経営学科	130名	5名	530名
外国語学部	英米語学科	80名	5名	330名
	中国語学科	40名	—	160名
	韓国語学科	60名	—	240名
	日本語・日本語教育学科	40名	—	160名
保健医療学部	理学療法学科	85名	—	340名
	作業療法学科	60名	—	240名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
看護学部	看護学科	105名	—	420名

3 各学部に関する規程は、別に定める。

(学科の人材養成に係る目的)

第3条の2 前条に定める各学科の人材養成に係る目的は次の各号のとおりとする。

(1) 心理カウンセリング学科は、多様化した現代社会において、心理学の知識や技術を活かして、広く心理社会的課題の解決に貢献できる人材を養成する。

(2) 人間福祉学科は、社会福祉の理論に加え、現場実習を通じて、高度な専門技術・知識及び福祉への熱意を持った人材を養成する。

- (3) 子ども学科は、保育に関する専門的知識・技術を習得するとともに、それを支える豊かな人間性を有し、子どもの保育及び子育て家庭に対する支援を実践できる人材を養成する。
- (4) 児童教育学科は、児童理解の理論に加え、臨床的な学習の重視により、児童の育成・支援に関わる高い実践力をもった人材を養成する。
- (5) 社会情報学科は、社会・生活諸領域に関する知識・技能を用いて、生活者の視点で社会的課題を解決し、社会及び生活の質的向上に向けて豊かな価値を創造できる人材を養成する。
- (6) 地域社会学科は、地域社会にある多様な課題を発見し、それらを解決に導く知識及び調査研究の技法を持ち、主体的な行動ができる人材を養成する。
- (7) メディア学科は、現代社会におけるメディアの重要性を認識し、メディアに関する知識・活用能力を用いて社会の諸問題の解決に寄与しうる人材を養成する。
- (8) 経営学科は、経営管理、マーケティング及び会計学の分野における諸問題の発見能力とその解決能力を有する人材を養成する。
- (9) 英米語学科は、実用的英語運用能力を有し、同時に国際的諸問題に広い視野で対応できる人材を養成する。
- (10) 中国語学科は、実用的中国語運用能力を有し、同時に国際的諸問題に広い視野で対応できる人材を養成する。
- (11) 韓国語学科は、実用的韓国語運用能力を有し、同時に国際的諸問題に広い視野で対応できる人材を養成する。
- (12) 日本語・日本語教育学科は、外国語としての日本語の視座から日本語を教授する技術・知識を有し、同時に国際的諸問題に広い視野で対応できる人材を養成する。
- (13) 理学療法学科は、身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、基本動作能力の回復や維持、及び障害の悪化の予防を目的に、自立した日常生活が送れるよう支援する人材を養成する。
- (14) 作業療法学科は、生活機能に障害を持つ人に対し、諸機能の回復、維持又は開発を促す作業活動を用いて治療及び援助を行う人材を養成する。
- (15) 言語聴覚学科は、ことばや聞こえ、摂食嚥下に障害のある人が豊かな生活が送れるよう、障害状態の評価並びに訓練及び指導などにより適切に支援できる人材を養成する。
- (16) 看護学科は、多様な健康ニーズに対応するため、科学的思考、協調性及び確実な技術を身につけ、新しい時代の医療を創造できる人材を養成する。

(大学院)

第3条の3 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する規程は、別に定める。

(卒業認定・学位授与等の方針)

第3条の4 本学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定める。

2 前項の方針に関する事項は、別に定める。

(図書館)

第4条 本学の各キャンパスに、図書館を置く。

2 図書館に関する規則は、別に定める。

(附属施設)

第5条 本学の新宿キャンパスに、地域連携・研究推進センター、心理カウンセリングセンター及び高等教育研究所を、さいたま岩槻キャンパスに、地域連携・研究推進センター分室を置く。

2 地域連携・研究推進センター（分室を含む。）、心理カウンセリングセンター及び高等教育研究所に関する規則は、別に定める。

第3章 教職員組織及び事務局

(教職員組織)

第6条 本学に次の教職員を置く。

学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員

2 前項に規定するもののほか、学長の職務を補佐するため、副学長を置くことができる。

(事務局)

第7条 本学に、事務局を置く。

2 事務局に関する規則は、別に定める。

第4章 大学運営評議会・学部長等会議及び教授会

(大学運営評議会・学部長等会議及び教授会)

第8条 本学に、重要な事項を審議するため、大学運営評議会、学部長等会議及び教授会を置く。

2 大学運営評議会、学部長等会議及び教授会に関する規則は、別に定める。

第5章 学年・学期及び休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を春学期と秋学期の2学期に分け、期間については、当該年度の学年暦において定める。

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 学園創立記念日 11月11日

(4) 夏季休業、冬季休業、春季休業は当該年度の学年暦において定める。

2 教育上必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

4 教育上必要がある場合、学長は第1項各号に定める休業日を、授業日とすることができる。

第6章 学部通則

(修業年限及び在学年限)

第12条 学部の修業年限は4年とする。

2 学生は、6年を超えて在学することはできない。ただし、編入学、再入学又は転入学により入学した学生は、入学後の修業年限の2倍に相当する年限を超えることはできない。

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学資格)

第14条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

(入学の出願)

第15条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に検定料を添えて願い出なければならない。

2 出願の時期・方法・書類等については、募集要項等に定める。

(入学者の選抜)

第16条 前条の入学志願者については、所定の選考の後、教授会の議を経て、学長が合格を決定する。

(入学手続き及び入学許可)

第17条 前条の選抜の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金等を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学・再入学・転入学及び学士入学)

第18条 次の各号の一に該当し、本学の2・3年次に編入学を志願する者には、選考の上、教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

(1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(2) 大学入学資格を有し、学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者

(3) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者

(4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者

2 編入学に関する事項は、別に定める。

3 大学を卒業した者又は退学した者で、本学に再入学・転入学又は学士入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上、教授会の議を経て、学長が相当年次に入学を許可する。

4 再入学・転入学・学士入学に関する規程は、別に定める。

(転学科)

第18条の2 同一学部内又は他学部の学科に転籍を希望する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て、学長が許可する。

2 転学科に関する規程は、別に定める。

(休学)

第19条 疾病その他やむを得ない事情により、休学願を提出した者については、教授会の議を経て、学長が休学を許可する。

2 疾病その他やむを得ない事情により、修学することが適当でないと認められる者については、教授会の議を経て、学長は休学を命ずることができる。

3 疾病等を事由とする休学願には、医師の診断書を添えなければならない。

(休学期間)

第20条 休学期間は、学期又は連続する2学期を単位とし、1年以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、引き続き1年を限度として延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

3 休学期間は、第12条第2項の在学期間に算入しない。

(復学)

第21条 休学期間中にその事由が消滅し、復学願を提出した者については、教授会の議を経て、学長が復学を許可する。

2 ただし、休学者は学期の初めでなければ復学することができない。

(退学)

第22条 退学願を提出した者については、教授会の議を経て、学長が退学を許可する。

(除籍)

第23条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第12条第2項に定める在学期間を超えた者
- (2) 第20条第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (3) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第7章 教育課程・履修方法等

(授業科目)

第24条 心理学部は、授業科目を共通科目及び専門教育科目に区分する。

2 人間学部は、授業科目を共通科目、専門教育科目及び教職に関する科目に区分する。

3 社会学部は、授業科目を共通科目、専門教育科目及び教職に関する科目に区分する。

4 メディア学部は、授業科目を共通科目及び専門教育科目に区分する。

5 経営学部は、授業科目を共通科目及び専門教育科目に区分する。

6 外国語学部は、授業科目を共通科目、専門教育科目及び教職に関する科目に区分する。

7 保健医療学部は、授業科目を共通科目及び専門教育科目に区分する。

8 看護学部は、授業科目を共通科目及び専門教育科目に区分する。

9 各学部の共通科目の履修方法及び単位数については別表第1、各学部の専門教育科目及び教職に関する科目の履修方法及び単位数については、心理学部は別表第2、人間学部は別表第3、社会学部は別表第4、メディア学部は別表第5、経営学部は別表第6、外国語学部は別表第7、保健医療学部は別表第8、看護学部は別表第9のとおりとする。

10 学生の履修科目登録単位数の上限については、別に定める。

(副専攻)

第24条の2 特定の分野または課題の授業科目で構成する副専攻を設置し、その学習成果を認定することができる。

2 副専攻に関して必要な事項は別に定める。

(授業期間)

第25条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業の方法及び単位数の計算方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 教育上有益と認める場合には、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

4 各授業科目の単位数は、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

5 前項の規定にかかわらず、卒業研究の授業科目については、学習の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、別表の当該科目の単位数とする。

(単位の授与)

第27条 授業科目を履修し、その試験に合格した学生には、所定の単位を与える。

2 試験に関する事項は、別に定める。

(学習成績の評価)

第28条 学習成績の評価は、S・A・B・C・D・Nをもって示し、S・A・B・C・Nを合格、Dを不合格とする。

2 評価に関する事項は、別に定める。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修)

第29条 教育上有益と認めるときは、他大学又は短期大学との協議により、当該他の大学又は短期大学で学修することができる。

2 前項により履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第30条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修、文部科学大臣が別に定める学修、及び本学が特に認めた学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第31条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む)において履修した授業科目について修得した単位及び本学が特に認めた学修を、本学に入学した後の授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

2 学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により与えることのできる単位数は、編入学、再入学及び転入学の場合を除き、本学で修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

第8章 卒業等

(卒業の要件)

第32条 本学を卒業するためには、4年以上在学し、所定の授業科目について心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部及び外国語学部は、124単位以上、保健医療学部及び看護学部は、128単位以上を修得しなければならない。

2 3年次に編入学した学生に前項の規定を適用する場合には、「4年」とあるのは「2年」と読み替え、62単位以下を1年次及び2年次において、修得したものとみなすことができる。

(卒業)

第33条 前条の卒業の要件を満たした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

(学位授与)

第34条 学長は、前条の規定により卒業を認定した者に対し、学士の学位を次のとおり授与する。

学部	学科	学位
心理学部	心理カウンセリング学科	学士(心理学)
人間学部	人間福祉学科	学士(人間福祉学)

	子ども学科	学士（子ども学）
	児童教育学科	学士（児童教育学）
社会学部	社会情報学科	学士（社会情報学）
	地域社会学科	学士（地域社会学）
メディア学部	メディア学科	学士（メディア学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
外国語学部	英米語学科	学士（英米語）
	中国語学科	学士（中国語）
	韓国語学科	学士（韓国語） 学士（韓国語教育）
	日本語・日本語教育学科	学士（日本語） 学士（日本語教育）
保健医療学部	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

（教育職員免許状の取得）

第34条の2 本学で取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	教科
人間学部	子ども学科	幼稚園教諭一種免許状	
	児童教育学科	小学校教諭一種免許状	
社会学部	地域社会学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史、公民
外国語学部	英米語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語
	中国語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	中国語 中国語
	日本語・日本語教育学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語 国語

2 前項の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所定の単位を修得しなければならない。

（保育士の資格取得）

第34条の3 保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 保育士の資格取得について必要な事項は、別に定める。

（介護福祉士の資格取得）

第34条の4 介護福祉士の資格を取得しようとする者は、別表第3の2により厚生労働省の定める所定の単位を修得しなければならない。

（公認心理師の資格取得）

第34条の5 公認心理師の資格を取得しようとする者は、公認心理師法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 公認心理師の資格取得について必要な事項は、別に定める。

第9章 外国人留学生・科目等履修生・聴講生・研究生

(外国人留学生)

第35条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可する。

2 外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第36条 本学の学生以外の者で一又は複数の授業科目の履修を希望する者（以下「科目等履修生」という。）があるときは、本学の教育に特に支障がない限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可する。

2 科目等履修生に対する単位の授与については、第27条の規定を準用する。

3 科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第36条の2 本学の学生以外の者で一又は複数の授業科目の聴講を希望する者（以下「聴講生」という。）があるときは、本学の教育に特に支障がない限り、選考の上、聴講生として入学を許可する。

2 聴講生については、単位を認定しない。

3 聴講生について必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第37条 本学の学生又は他大学の者で特定の専門事項について研究を希望する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生について必要な事項は、別に定める。

第10章 学生納付金等

(学生納付金等の金額)

第38条 本学の検定料、入学金、授業料、施設設備費、実験実習費及び休学在籍料の金額は、別表第10のとおりとする。

2 外国人留学生、科目等履修生、聴講生及び研究生の入学金、授業料等については、別に定める。

3 教職教育課程費等については、別に定める。

(納付した学生納付金等)

第39条 納付した検定料、入学金、授業料、施設設備費、実験実習費及び休学在籍料は、別に定めのある場合を除き返還しない。ただし、所定の期日までに文書により、入学辞退の申出のあった者の授業料、施設設備費及び実験実習費についてはこの限りでない。

(学生納付金等の納期等)

第40条 学生納付金及びその他の納付金の納期等については別に定める。

(休学の場合の授業料等)

第41条 休学を許可された者は、休学期間の休学在籍料を納付するものとし、他の授業料等の納付は要しない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第42条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの当該期までの授業料等を納付しなければならない。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第43条 学期の途中で退学しようとする者は、その期の授業料等を納付しなければならない。

2 除籍された者の当該期分の授業料等は徴収する。

3 停学期間中の授業料等は徴収する。

第11章 賞 罰

(表彰)

第44条 学生として表彰に値する行為があった者には、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第45条 本学の学則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前2項の懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 補 則

(学則の改廃)

第46条 この学則の改廃は、理事会の審議を経なければならない。

附 則

1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第3条第2項の人文学部の「3年次編入学定員」に関する規定は、平成8年4月1日から施行する。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成6年度	平成7年度	平成8年度
人文学部	地域文化学科	120名	240名	385名
	言語文化学科	120名	240名	385名

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、変更後の第9条、第13条については平成10年10月1日から適用する。

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第3条第2項の人間社会学部の「3年次編入学定員」に関する規定は、平成14年4月1日から施行する。

2 第3条第2項に規定する人間社会学部の「収容定員」は、同項の規定にかかわらず、平成12年度から14年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成12年度	平成13年度	平成14年度
人間社会学部	心理カウンセリング学科	120名	240名	380名
	メディア表現学科	80名	160名	255名
	社会情報学科	80名	160名	255名

3 別科の募集については、平成12年度から当分の間、募集を停止する。

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、第3条第2項に規定する人文学部の「3年次編入学定員」は、同項の規定にかかわらず、平成13年度及び平成14年度は次表のとおりとする。

学 部	学 科	3年次編入学定員	
		平成13年度	平成14年度

人文学部	地域文化学科	25名	25名
	言語文化学科	25名	25名
	現代社会学科	—	—

- 2 第3条第2項に規定する人文学部の「収容定員」は、同項の規定にかかわらず、平成13年度から平成15年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成13年度	平成14年度	平成15年度
人文学部	地域文化学科	490名	450名	405名
	言語文化学科	490名	450名	400名
	現代社会学科	80名	160名	255名

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
ただし、第3条第2項の経営学部の「3年次編入学定員」に関する規定は平成16年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に規定する経営学部の「収容定員」は、同項の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
経営学部	経営学科	100名	200名	320名

- 3 第41条及び第42条の規定は、平成14年度に限り、平成13年度以前の入学者に対しては、平成13年度の学則を適用する。

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 1 この学則は、平成15年8月1日から施行する。
- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第3条第2項の人間社会学部人間福祉学科の「3年次編入学定員」に関する規定は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に規定する人間社会学部のメディア表現学科及び人間福祉学科の「収容定員」は、同項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成16年度	平成17年度	平成18年度
人間社会学部	メディア表現学科	390名	430名	470名
	人間福祉学科	120名	240名	380名

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に規定する人文学部、人間社会学部、外国語学部及び保健医療学部の「収容定員」は、同項の規定にかかわらず、平成17年度から19年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成17年度	平成18年度	平成19年度
人文学部	地域文化学科	320名	280名	260名
	言語文化学科	255名	160名	80名
	現代社会学科	315名	280名	260名
人間社会学部	心理カウンセリング学科	510名	500名	500名
	メディア表現学科	425名	460名	500名
	社会情報学科	370名	390名	410名

外国語学部	英米語学科	80名	160名	245名
	アジア語学科	70名	140名	210名
	中国語専攻	(30名)	(60名)	(90名)
	韓国語専攻	(20名)	(40名)	(60名)
	日本語教育専攻	(20名)	(40名)	(60名)
保健医療学部	理学療法学科	80名	160名	240名
	作業療法学科	40名	80名	120名

1 この学則は、平成17年8月1日から施行する。

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 第3条第2項の規定にかかわらず人文学部、人間社会学部、経営学部、保健医療学部及び看護学部の「収容定員」は、平成18年度から20年度までは、次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
人文学部	地域文化学科	220名	140名	60名
	現代社会学科	220名	140名	60名
人間社会学部	メディア表現学科	455名	490名	490名
	社会情報学科	380名	390名	410名
	人間福祉学科	370名	500名	500名
	地域社会学科	80名	160名	245名
経営学部	経営学科	445名	450名	470名
保健医療学部	言語聴覚学科	40名	80名	120名
看護学部	看護学科	80名	160名	240名

1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

2 第3条第2項の規定にかかわらず、人間学部子ども学科、社会学部社会情報学科及び地域社会学科の「収容定員」は、平成19年度から21年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成19年度	平成20年度	平成21年度
人間学部	子ども学科	140名	280名	430名
社会学部	社会情報学科	390名	410名	410名
	地域社会学科	160名	245名	330名

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 第3条第2項の規定にかかわらず、社会学部社会情報学科、外国語学部中国語学科、韓国語学科及び日本語・日本語教育学科の「収容定員」は、平成20年度から22年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成20年度	平成21年度	平成22年度
社会学部	社会情報学科	430名	450名	470名
外国語学部	中国語学科	130名	140名	150名
	韓国語学科	100名	120名	140名
	日本語・日本語教育学科	100名	120名	140名

1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

- 2 第3条第2項の規定にかかわらず、人間学部児童教育学科の「収容定員」は、平成21年度から23年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
人間学部	児童教育学科	50名	100名	150名

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
 2 第3条第2項の規定にかかわらず、保健医療学部作業療法学科の「収容定員」は、平成22年度から24年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成22年度	平成23年度	平成24年度
保健医療学部	作業療法学科	180名	200名	220名

この学則は、平成22年7月1日から施行する。

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
 この学則は、平成23年12月9日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
 1 この学則は平成24年4月1日から施行する。
 2 第3条第2項の規定にかかわらず、外国語学部韓国語学科及び看護学部看護学科の「収容定員」は、平成24年度から26年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		24年度	25年度	26年度
外国語学部	韓国語学科	180名	200名	220名
看護学部	看護学科	340名	360名	380名

この学則は、平成25年1月1日から施行する。

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

この学則は、平成25年9月1日から施行する。

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

この学則は、平成26年8月1日から施行する。

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、別表第1～2については平成28年4月入学者から適用し、平成27年度以前入学者については、なお従前の例による。

この学則は、平成28年6月1日から施行する。ただし、平成27年度以前入学者については、なお従前の例による。

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
 2 第3条第2項の規定にかかわらず、人間学部人間福祉学科、経営学部経営学科、保健医療学部理学療法学科及び看護学部看護学科の「収容定員」は、平成29年度から平成31年度までは次表のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
人間学部	人間福祉学科	480名	460名	440名
経営学部	経営学科	500名	510名	520名
保健医療学部	理学療法学科	325名	330名	335名
看護学部	看護学科	405名	410名	415名

3 平成29年3月31日に社会学部社会情報学科、メディア表現学科及び経営学部経営学科に在籍する者が取得できる教員の免許状の種類は、この学則による改正後の第34条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成29年度以前入学者についてはなお従前の例による。

2 社会学部メディア表現学科は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成30年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 第3条第2項の規定にかかわらず、社会学部メディア表現学科及びメディア学部メディア学科の「収容定員」は、平成30年度から32年度までは次表のとおりとする。

学部	学科	収容定員		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
社会学部	メディア表現学科	365名	240名	120名
メディア学部	メディア学科	140名	280名	420名

この学則は、平成30年10月1日から施行する。

この学則は、2019年4月1日から施行する。ただし、2018年度以前入学者についてはなお従前の例による。

1 この学則は、2020年4月1日から施行する。

2 人間学部心理カウンセリング学科は、第3条第2項の規定にかかわらず、2020年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 第3条第2項の規定にかかわらず、人間学部心理カウンセリング学科及び心理学部心理カウンセリング学科の「収容定員」は、2020年度から2022年度までは次表のとおりとする。

学部	学科	収容定員		
		2020年度	2021年度	2022年度
人間学部	心理カウンセリング学科	370名	240名	120名
心理学部	心理カウンセリング学科	125名	250名	375名

4 2019年度以前入学者についてはなお従前の例による。ただし、改正前の第41条第2項及び第42条については、この限りではない。

5 前項にかかわらず、改正後の第19条、第20条、第21条及び第43条については、2019年度以前入学者についても適用する。

この学則は、2021年4月1日から施行する。ただし、2020年度以前入学者についてはなお従前の例による。

1 この学則は、2021年4月1日から施行する。

1 この学則は、2022年4月1日より施行する。ただし、2021年度以前入学者についてはなお従前の例による。

2 前項にかかわらず、改正後の別表3、別表4、別表7のうち「教育実習小・中学校（事前事後指導含む）」の科目については、2019年度以降の入学者についても適用する。

3 第1項にかかわらず、別表5の2については、2018年度以降の入学者についても適用する。

1 この学則は、2023年4月1日から施行する。ただし、2022年度以前入学者についてはなお従前の例による。

2 前項に関わらず、改正後の第10条、第11条及び第18条については、2022年度以前入学者についても適用する。

この学則は、2024年4月1日から施行する。ただし、2023年度以前入学者についてはなお従前の例による。

この学則は、2025年4月1日から施行する。ただし、2024年度以前入学者についてはなお従前の例による。

別表第1（第24条関係）

（1）共通科目（新宿キャンパス）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考	
			必 修	選 択		
セ初 ミ年 ナ次	ベーシックセミナーⅠ	1	1			
	ベーシックセミナーⅡ	1	1			
総 合 科 目	分野 横 断 科 目	大学生生活と学問	1		2	分野横断科目から1 科目、学際科目から 1科目、異分野入門 科目から1科目の計 3科目6単位選択必 修
		知の探究法	1		2	
		「目白大学」を知る	1		2	
		科学的なものの見方・考え方	1		2	
		持続可能な社会を考える	1		2	
		デジタル化する社会を考える	1		2	
	学 際 科 目	現代の社会福祉	2		2	
		感性を磨く芸術論	2		2	
		知の対象としての恋愛	2		2	
		人間と遊び	2		2	
		社会生活のデザイン	2		2	
		子供とメディア	2		2	
		「観光」で読み解く現代社会	2		2	
		お金とつきあう	2		2	
		社会の中のことば	2		2	
		日本語再発見	2		2	
		コトバの実験室	2		2	
		問題解決・思考法	2		2	
		未来を拓くイノベーション	2		2	
		異 分 野 入 門 科 目	心理学入門	2		
ボランティア入門	2			2	人間学部生は履修不可	
保育学入門	2			2		
現代教育入門	2			2		
人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2			2	社会学部生は履修不可	
江戸東京学入門	2			2		
マスメディア学入門	2		2	メディア学部生は履修不可		

	現代経営入門	2		2	経営学部生は履修不可
	言語学入門	2		2	外国語学部生は履修不可
	古典に学ぶ	2		2	
	コーポレート・ガバナンス	2		2	全学部生履修可
課題口探 求バ科目目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	2		2	
	自然科学的な視点から地球環境問題を考える	2		2	
	日本と世界の経済事情	2		2	
	世界の今を学ぼう	2		2	

授業科目の区分		授業科目	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
総合科目目	基礎教養科目	日本国憲法	1		2	
		考古学入門	1		2	
		芸術論入門	1		2	
		政治学概説	1		2	
		東洋史概説	1		2	
		西洋史概説	1		2	
		日本史概説	1		2	
		自然地理学概説	1		2	
		法学入門	1		2	
		社会学入門	1		2	
		漢文学概説	1		2	
		現代文学入門	1		2	
		倫理学入門	1		2	
		国語		国語基礎演習Ⅰ	1	
	国語基礎演習Ⅱ		1	2		
	国語応用演習（読解）		2		1	
	国語応用演習（表現）		2		1	
	専門レポート基礎演習		2		1	
外国語		英語基礎 (Fundamentals of English) I	1	1		外国語学部英米語学科は、英語科目を必修とせず履修不可とする。
		英語基礎 (Fundamentals of English) II	1	1		
		総合英語 (Integrated English) I	1	1		
		総合英語 (Integrated English) II	2	1		
		専門基礎英語 (Basic English for Special Fields)	2	1		
		English Test Strategies	1		1	
		English Using CALL	1		1	
		Business English	2		1	

	Communicative Listening and Writing	2		1	外国語学部中国語学科は、英語科目はすべて選択及び中国語科目は履修不可とする。 外国語学部韓国語学科は、英語科目はすべて選択及び韓国語科目は履修不可とする。
	Film English	2		1	
	Practical English Grammar	2		1	
	中国の言語と文化	1		2	
	中国語基礎Ⅰ	1		1	
	中国語基礎Ⅱ	1		1	
	中国語基礎Ⅲ	2		1	
	韓国の言語と文化	1		2	
	韓国語基礎Ⅰ	1		1	
	韓国語基礎Ⅱ	1		1	
	韓国語基礎Ⅲ	2		1	
	東南アジアの言語と文化	1		2	
	インドネシア語入門	1		1	
授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	
外国語	フランスの言語と文化	1		2	
	フランス語基礎Ⅰ	1		1	
	フランス語基礎Ⅱ	1		1	
	フランス語基礎Ⅲ	2		1	
	ドイツの言語と文化	1		2	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1		1	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1		1	
	ドイツ語基礎Ⅲ	2		1	
	スペインの言語と文化	1		2	
	スペイン語入門	1		1	
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1	2		
	情報活用演習Ⅱ	1	2		
	情報活用演習Ⅲ	2		2	
	情報活用基礎演習A	1		2	
	情報活用基礎演習B	2		2	
	情報活用応用演習	2		2	
	情報活用特別演習	2		2	
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1	1		
	生涯スポーツ2	2		1	
	生涯スポーツ3	2		1	
	健康科学	1	1		
	健康科学演習（心とからだ）	2		1	
キャリア	専門とキャリアA	2	1		外国語学部韓国語学科の配当年次は1年

リアデザイン	専門とキャリアB	2	1		外国語学部韓国語学科の配当年次は3年
	仕事と社会	3		1	
	キャリア研修I	1		2	
	キャリア研修II	2		2	
	キャリア演習	2		2	
副専攻ゼミ	SDGs基礎セミナー	3		2	卒業要件としない。
	SDGs特別セミナー	3		2	
	DX基礎セミナー	3		2	
	DX特別セミナー	3		2	
外国語としての日本語	総合日本語1A	1		2	日本語を母語としない学生対象とする。
	総合日本語2A	1		2	
	総合日本語3A	1		2	
	総合日本語4A	1		2	
	総合日本語1B	1		2	
	総合日本語2B	1		2	
	総合日本語3B	1		2	
	総合日本語4B	1		2	
	日本語表現A	1		2	
	日本語表現B	1		2	
	基礎日本語A	1		2	
	基礎日本語B	1		2	
	検定日本語A	1		2	
	検定日本語B	1		2	
	専門日本語A	1		2	
	専門日本語B	1		2	
	応用日本語(メディア)A	1		1	
	応用日本語(メディア)B	1		1	
応用日本語(日本の社会と文化)A	1		1		
応用日本語(日本の社会と文化)B	1		1		
単位数計	<卒業要件> 共通科目 28単位以上 外国語学部英米語学科、中国語学科及び韓国語学科においては22単位以上		19	19	
			3		
			212		

別表第1 (第24条関係)

(2) 共通科目 (保健医療学部 看護学部)

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
初年次セミナー	ベーシックセミナーI	1	1		*学際科目・異分野入門科目から各1科目の2科目4単位選択必修

		ベーシックセミナーⅡ	1	1		* 理学療法学科学生は「理学療法を知る」を履修不可
総合科目	分野横断科目	大学生生活と学問	1		2	* 作業療法学科学生は「人間の作業」を履修不可
		「目白大学」を知る	1		2	* 言語聴覚学科学生は「地域社会で生きる」を選択必修より除外する
		持続可能な社会を考える	1		2	* 看護学科学生は「看護を知る」を履修不可
		デジタル化する社会を考える	1		2	※1 日本国憲法は養護教諭二種免許取得時必修
	学際科目	医療で読み解く現代社会	1		2	※2 高等学校で「物理」未履修者は必修(保健医療学部のみ)
		こころと行動の科学入門	1		2	※3 高等学校で「生物」未履修者は必修(保健医療学部のみ)
		ことばとこころの発達	1		2	※4 看護学科学生は必修
		いのちの道德	1		2	* スポーツ・健康は2科目2単位を選択必修
		異分野入門科目	理学療法を知る	1		2
		人間の作業	1		2	
	地域社会で生きる	1		2		
	看護を知る	1		2		
グローバル課題探求科目	知るということ(学問と知識)	1		2		
	文化の見つめ方	1		2		
基礎教養科目	日本国憲法 ※1	1		2		
	物理学 ※2	1		2		
	生物学 ※3	1		2		
	心理学	1	2			
	統計学	1	2			
	生化学※4	1		2		
国語	日本語読解演習	1	1			
	日本語文章表現演習	1	1			
	プレゼンテーション演習	1		1		
外国語	英語Ⅰ	1	1			
	英語Ⅱ	1	1			
	英語Ⅲ	2	1			
	英語Ⅳ	2	1			
	英語総合Ⅰ	2		1		
	英語総合Ⅱ	2		1		
	ドイツ語Ⅰ	1		1		
	ドイツ語Ⅱ	1		1		
	中国語Ⅰ	1		1		
	中国語Ⅱ	1		1		

情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1	2		
	情報活用演習Ⅱ	1	2		
	情報活用演習Ⅲ	2		2	
	数理基礎演習	1		2	
	情報活用特別演習	2		2	
スポーツ・健康	スポーツ・健康A	1		1	
	スポーツ・健康B	1		1	
	スポーツ・健康C	2		1	
	スポーツ・健康D	2		1	
	野外運動実習	1		1	
	ダイビング実習A	1		1	
	ダイビング実習B	1		1	
	スキー実習	1		1	
単位数計	<卒業要件> 共通科目 30単位以上 保健医療学部理学療法学科及び作業療法学科 においては28単位以上		1 6	5 7	必修単位数合計は保健医療学部は16単位、看護学部は18単位
			73		

別表第2（第24条関係）

（1）専門教育科目（心理学部 心理カウンセリング学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
心理学導入科目	心理学と社会A（家族とこころ）	1		2	2科目4単位以上 選択必修
	心理学と社会B（多様性・文化とこころ）	1		2	
	心理学と社会C（消費者とこころ）	1		2	
	心理学と社会D（人間関係とこころ）	1		2	
	心理学と社会E（子ども相談入門）	1		2	
	心理学と社会F（こころの予防教育）	1		2	
心理学基礎科目	心理学概論	1	2		
	臨床心理学概論	1	2		
	心理学統計法	1	2		
	心理学研究法	2	2		
	心理学実験	2	4		
心理学 学 発	基本科目	知覚・認知心理学	1	2	公認心理師の受験資格を希望する学生は 全科目必修
		学習・言語心理学	1	2	
		感情・人格心理学	2	2	
		神経・生理心理学	1	2	
		社会・集団・家族心理学	1	2	
		発達心理学	1	2	

展 科 目		障害者・障害児心理学	2		2	
	実 践 科 目	健康・医療心理学	2		2	
		福祉心理学	2		2	
		教育・学校心理学	2		2	
		司法・犯罪心理学	2		2	
		産業・組織心理学	2		2	
	関 連 科 目	精神疾患とその治療	2	2		
		人体の構造と機能及び疾病	3		2	
		公認心理師の職責	3		2	
		関係行政論	3		2	
心 理 学 専 修 科 目	家族心理学特講A（子どもの心理療法）	2		2	3科目6単位以上 選択必修	
	家族心理学特講B（芸術療法）	3		2		
	対人関係心理学特講A（パーソナリティと心理学）	2		2		
	対人関係心理学特講B（ストレスと行動変容）	3		2		
	多様性心理学特講A（コミュニティ心理学）	2		2		
	多様性心理学特講B（異文化・多様性カウンセリング）	3		2		
	福祉心理学特講A（成人と高齢者の心理学）	2		2		
	福祉心理学特講B（児童養護）	3		2		
	学校心理学特講A（ピア・サポートA）	3		2		
	学校心理学特講B（ピア・サポートB）	3		2		
	学校心理学特講C（学校臨床心理学）	2		2		
	医療健康心理学特講A（力動的心理療法）	2		2		
	医療健康心理学特講B（認知行動療法）	2		2		
	医療健康心理学特講C（スポーツ心理学）	3		2		
	医療健康心理学特講D（身体疾患と心理）	3		2		
	司法犯罪心理学特講A（被害者支援心理学）	2		2		
	司法犯罪心理学特講B（心理学と法）	2		2		
	司法犯罪心理学特講C（加害と被害の臨床心理学）	3		2		
	産業心理学特講A（キャリア心理学）	2		2		
産業心理学特講B（産業カウンセリング）	3		2			
実 心 習 理 学 目 演 習	心理学体験実習A（ボランティア）	1		1		
	心理学体験実習B（異文化体験）	2		1		
	心理学体験実習C（メンタルサポートボランティア）	3		1		
	心理学入門演習	1	2			
	心理学基礎演習	2	2			
	心理学調査法	3		2		

心理学的支援実習	心理的アセスメント	3		2	公認心理師の受験資格を希望する学生は全科目必修
	心理学的支援法	3		2	
	心理演習A	4		2	
	心理演習B	4		2	
	心理実習	4		2	
研臨修地	臨地研修（短期）	2		2	
	臨地研修（長期）	2		4	
卒業セミナー研究	心理学専門セミナーA	3	1		
	心理学専門セミナーB	3	1		
	心理学特別セミナーA	4	1		
	心理学特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4		4	
単位数計	<卒業要件>		34	95	
	専門教育科目	84単位以上	129		
	自由選択科目	12単位まで			
	合計	96単位以上			

別表第3（第24条関係）

（1）専門教育科目（人間学部 人間福祉学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
基幹科目	人間学の基礎	1	2		選択必修1科目2単位
	社会福祉学入門	1	2		
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1		2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	3		2	
	社会福祉現場実践入門	1	2		
	社会学と社会システム	2	2		
	生命倫理	2	2		
	福祉と人権	3	2		
	法学（人権と法）	2		2	
社会福祉の分野に関する	子ども家庭福祉論	1		2	選択必修5科目10単位
	障害者福祉論	1		2	
	高齢者福祉論	2		2	
	保健医療と福祉	2		2	
	介護福祉概論	1		2	
	介護の基本Ⅰ	2		2	
	介護の基本Ⅱ	3		2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	1		2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2		2	

る 科 目	福祉行財政と福祉計画	3		2	
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2		2	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2		2	
	精神保健福祉制度論	3		2	
	生活科学概論Ⅰ(栄養・調理)	2		2	
	生活科学概論Ⅱ(被服・住居)	4		2	
	貧困に対する支援	3		2	
	刑事司法と福祉	3		2	
人 間 と 社 会 に 関 す る 知 識 の 科 目	医学概論	2		2	
	医学知識	2		2	
	認知症ケア概論Ⅰ	1		2	
	認知症ケア概論Ⅱ	3		2	
	介護技術方法論Ⅰ	2		2	
	介護技術方法論Ⅱ	3		2	
	介護技術方法論Ⅲ	3		2	
	精神医学Ⅰ	2		2	
	精神医学Ⅱ	2		2	
	人間関係論	3		2	
	心理学と心理的支援	1	2		
	発達心理学	2		2	
	カウンセリング概論	2		2	

授業科目 の区分	授業科目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
人 間 と 社 会 に 関 す る 知 識 の 科 目	精神保健の課題と支援Ⅰ	3		2	選択必修7科目14単位
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3		2	
	社会保障論Ⅰ	2		2	
	社会保障論Ⅱ	2		2	
	福祉サービスの組織と経営	3		2	
	権利擁護を支える法制度	3		2	
	NPO・社会的企業論	2		2	
	ジェンダー論	2		2	
	福祉国家論	3		2	
	国際協力論	3		2	
	ボランティア論	2		2	
社 会 福 祉 の	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2		選択必修5科目10単位
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1		2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2		2	

支援に関する科目	ソーシャルワークの理論と方法（専門） 1	3	2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門） 2	3	2
	社会福祉調査の基礎	3	2
	精神障害リハビリテーション論	3	2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門） A	3	2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門） B	3	2
	高齢者ソーシャルワーク論	2	2
	障害児・者ソーシャルワーク論	2	2
	医療ソーシャルワーク論	3	2
	ファミリーソーシャルワーク論	2	2
	スクールソーシャルワーク論 I	2	2
	スクールソーシャルワーク論 II	4	2
	多文化ソーシャルワーク論	3	2
	ユニバーサルコミュニケーション	1	2
	コミュニケーション技術 I（講義）	2	2
	リハビリテーション論	3	2
	レクリエーション活動援助法 B	3	2
	介護教育方法論	3	2
	福祉支援実習指導	3	1

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
演習	ソーシャルワーク演習	2		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） 1	2		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） 2	2		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） 3	3		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） 4	3		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） A	3		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） B	3		2	
	ソーシャルワーク演習（専門） C	4		2	
	介護技術演習	3		2	
	コミュニケーション演習	3		2	
	フィールドワーク演習	3		2	
	実習指導	ソーシャルワーク実習指導 1	2		1
ソーシャルワーク実習指導 2		3		1	
ソーシャルワーク実習指導 3		3		1	
ソーシャルワーク実習指導 A		3		1	
ソーシャルワーク実習指導 B		4		1	
ソーシャルワーク実習指導 C		4		1	
実	ソーシャルワーク実習 1	3		3	

習	ソーシャルワーク実習2	3		3	
	ソーシャルワーク実習A	4		3	
	ソーシャルワーク実習B	4		3	
	社会福祉現場実習入門（見学実習）	2		2	
研臨 修地	臨地研修（短期）	3		2	
	臨地研修（長期）	3		4	
資 格 目 支 援	社会福祉特論Ⅰ	4		2	
	社会福祉特論Ⅱ	4		2	
卒セ 業ミ 研ナ 究 ・	人間福祉学専門セミナーA	3	1		
	人間福祉学専門セミナーB	3	1		
	人間福祉学特別セミナーA	4	1		
	人間福祉学特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4		4	
単位数計	<卒業要件> 専門教育科目 84単位以上 自由選択科目 12単位まで 合計 96単位以上		22	18 3	
			205		

別表第3（第24条関係）

（1）専門教育科目（人間学部 子ども学科）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配当 年次	単位数		備 考
			必修	選択	
基 幹 科 目	人間学の基礎	1	2		
	人間発達と福祉	1	2		
	子どもと人権	1	2		
子 ど も の 文 化 ・ 遊 び に 関 す る 科 目	子どもと環境A	1	1		
	子どもと環境B	1	1		
	子どもと自然A	2		1	
	子どもと自然B	3		1	
	子どもと人間関係	1	2		
	子どもと遊び	1	2		
	子どもと遊び演習1	2		1	
	子どもと遊び演習2	2		1	
	子どもと遊び演習3	2		1	
	子どもと遊び演習4	2		1	
	子どもの言葉と児童文学	2		2	
	子ども文化論	2		2	
子どもの創造力	2		1		
保 育	保育原理Ⅰ	1	2		
	保育原理Ⅱ	1		2	

・教育に関する科目	保育者論	1	2		
	教育原理	2	2		
	教育・保育のカリキュラムと評価	2		2	
	教育の制度と経営	3		2	
	教育の方法と技術	3		2	
	教育哲学	4		2	
	保育者とマナー	4		2	
	保育内容演習（健康）	2		1	6単位以上選択必修
	保育内容演習（人間関係）	2		1	
	保育内容演習（環境）	2		1	
	保育内容演習（ことば）	2		1	
	保育内容演習（音楽表現）	2		1	
	保育内容演習（造形表現）	2		1	
	保育内容演習（身体表現）	2		1	
保育内容総論	3		1		
保育内容の計画と実践	3		2		
保育内容指導法（身体運動遊び）	3		2		
保育内容指導法（ことば）	3		2		
保育内容指導法（音楽表現）	3		2		
保育内容指導法（造形表現）	3		2		
音楽表現基礎 1	1		1		
音楽表現基礎 2	2		1		
音楽表現応用 1	3		1		
音楽表現応用 2	4		1		
造形表現基礎	1		1		
造形表現応用	2		1		
表現技術の基礎	1		2		
発達・福祉支援等に関する科目	社会福祉	1	2		
	子ども家庭福祉	1	2		
	子ども家庭支援論	2		2	
	社会的養護Ⅰ	2	2		
	社会的養護Ⅱ	2		1	
	子育て支援	3		1	
	発達心理学	1	2		
	教育心理学	2		2	
	子ども家庭支援の心理学	3		2	
	子どもの発達臨床	3	2		
	子どもと医療	4		2	
	子どもと性格	4		2	
	保育・教育相談	3		2	
	子ども理解と援助	3		1	

	特別な支援を要する子ども	2		2	
	障害児保育	3		2	
	乳児保育	2		2	
	乳児保育演習	2		1	
	子どもの食と栄養	3		2	
	子どもの保健	2		2	
	子どもの健康と安全	3		1	
	在宅保育論	4		2	
実習・実習指導	基礎実習指導	1		1	
	保育所実習Ⅰ	3		2	
	施設実習Ⅰ	2		2	
	保育所実習Ⅱ	3		2	
	施設実習Ⅱ	3		2	
	保育所実習指導Ⅰ	3		1	
	施設実習指導Ⅰ	2		1	
	保育所実習指導Ⅱ	3		1	
	施設実習指導Ⅱ	3		1	
	教育実習	4		4	
	教育実習指導	4		1	
	臨地研修	3		2	
	セミナー・卒業研究	子ども学基礎セミナー	2	1	
子ども学専門セミナーA		3	1		
子ども学専門セミナーB		3	1		
子ども学特別セミナーA		4	1		
子ども学特別セミナーB		4	1		
教職実践演習（幼稚園）		4		2	
卒業研究		4	4		
単位数計	<卒業要件>		37	100	
	専門教育科目 84単位以上				
	自由選択科目 12単位まで				
	合計 96単位以上		137		

別表3（第24条関係）

（1）専門教育科目（人間学部 児童教育学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
基幹科	人間学の基礎	1	2		
	教育学	1	2		
	教育心理学	2	2		
	教育原理	2	2		

目	アカデミックスキルの基礎Ⅰ	1	2		
	アカデミックスキルの基礎Ⅱ	1	2		
	社会規範とマナー	1	2		
	こども環境と教育デザイン	1	2		
	対話の人間関係論	1	2		
	学校論	1	2		
	学校教育の理論と方法	2	2		
	共生社会論	2	2		
発達・福祉と支援	子どもの発達と飼育・栽培	1		2	5系列それぞれから3科目6単位以上、合計30単位以上を選択必修
	児童福祉論	1		2	
	社会福祉論	2		2	
	教育相談の理論と方法	2		2	
	子どもの発達とレクリエーション支援	2		2	
	特別支援教育論	2		2	
	生涯発達心理学	3		2	
	身体発達とスポーツ	3		2	
心理・教育的アセスメント	3		2		
多文化共生	異文化理解	1		2	
	英語コミュニケーション演習	1		2	
	国際ボランティア論	1		2	
	地域ネットワークの理論と実際	2		2	
	世界の子どもと文化	2		2	
	わらべ歌と伝統的音楽	2		2	
	英語教育学概説	2		2	
	多文化の子どもと教育	3		2	
英語教育学応用	3		2		

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
こども環境と教育デザイン	レクリエーションの理論と方法	2		2	
	グローバル課題と教育	2		2	
	生命・環境・倫理	2		2	
	玩具と遊具	2		2	
	児童教育学研究法の基礎	3		2	
	情報科学技術と社会	3		2	
	児童造形活動の理論と方法	3		2	
	アート教育実践研究	3		2	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3		2	
教	生徒指導・進路指導の理論と方法	2		2	

育 現 場 と 実 践	キャリア教育の理論と方法	2		2	
	音楽実技	2		1	
	造形実技	2		1	
	体育実技	2		1	
	教育課程論	3		2	
	道徳教育の理論と指導法	3		2	
	教育の制度と経営	3		2	
	教育実践研究	3		2	
	学校現場における教育法規	3		2	
学 校 と 教 科 教 育	音楽	1		2	
	図画工作	1		2	
	体育	1		2	
	国語	2		2	
	算数	2		2	
	社会	2		2	
	理科	2		2	
	家庭	2		2	
	生活	2		2	
	小学校外国語	2		2	
発 展 科 目	発達支援特別演習	4		2	4科目中2科目以上、4単位以上選択必修
	世界音楽の鑑賞と表現	4		2	
	多文化教育研究	4		2	
	英語教育研究	4		2	
研 臨 修 地	臨地研修（短期）	2		2	
	臨地研修（長期）	2		4	
卒 業 ミ 研 究 ・	児童教育学専門セミナーA	3	1		
	児童教育学専門セミナーB	3	1		
	児童教育学特別セミナーA	4	1		
	児童教育学特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4	4		
単 位 数 計	<卒業要件>		3 2	1 0 5	
	専門教育科目	8 8 単位以上			
	自由選択科目	8 単位まで	1 3 7		
	合 計	9 6 単位以上			

別表第3（第24条関係）

（2）教職に関する科目（人間学部 児童教育学科）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
共	教職入門(小学校)	1	2		

通	ICT活用の理論と方法（小・中・高）※1	2	2	
	初等教科教育法（音楽）	2	2	
	初等教科教育法（図画工作）	2	2	
	初等教科教育法（体育）	2	2	
	初等教科教育法（国語）	2	2	
	初等教科教育法（算数）	3	2	
	初等教科教育法（社会）	3	2	
	初等教科教育法（理科）	3	2	
	初等教科教育法（家庭）	3	2	
	初等教科教育法（生活）	3	2	
	初等・中等教科教育法（外国語（英語））※2	3	2	
	教育方法論（小・中・高）※1	2	2	
	小学校体験活動（事前事後指導含む）	2	2	
	介護等体験実習（事前事後指導含む）	3	2	
	教育実習 小・中学校（事前事後指導含む）※1	4	5	
教職実践演習（小学校）	4	2		
単位数計	教職に関する科目は、卒業要件には含まれない。	37	0	
		37		

※1 児童教育学科、地域社会学科、英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科において共通開設科目である。

※2 児童教育学科、英米語学科において共通開設科目である。

別表第3の2（第34条の4関係）

（1）介護福祉士資格に関する科目（人間学部 人間福祉学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
人間と社会	社会福祉学入門	1	2		
	人間関係論	3	2		
	社会福祉の原理と政策 I	1	2		
	社会保障論 I	2	2		
	高齢者福祉論	2	2		
	障害者福祉論	1	2		
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2		
	介護教育方法論	3	2		
介護	介護の基本 I ※	2	2		
	介護の基本 II ※	3	2		
	介護福祉概論 ※	1	2		
	地域福祉と包括的支援体制 I ※	1	2		
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) 1 ※	3	2		
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) 2 ※	3	2		
	コミュニケーション技術 I (講義) ※	2	2		

コミュニケーション技術Ⅱ(演習)	2	1	
生活支援技術Ⅰ	2	1	
生活支援技術Ⅱ	2	1	
生活支援技術Ⅲ	2	2	
ユニバーサルコミュニケーション ※	1	2	
レクリエーション活動援助法A	2	2	
生活科学概論Ⅰ(栄養・調理) ※	2	2	
生活科学概論Ⅱ(被服・住居) ※	4	2	
生活科学実習Ⅰ(栄養・調理)	3	1	
生活科学実習Ⅱ(被服・住居)	4	1	
介護過程Ⅰ	2	1	
介護過程Ⅱ	2	1	
介護過程Ⅲ	3	1	
介護過程Ⅳ	3	1	
介護過程Ⅴ	4	1	
介護総合演習Ⅰ	2	1	
介護総合演習Ⅱ	2	1	
介護総合演習Ⅲ	3	1	
介護総合演習Ⅳ	3	1	
介護実習Ⅰ	2	2	
介護実習Ⅱ	2	3	
介護実習Ⅲ	3	5	

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
こ こ ろ と か ら だ の し く み	医学概論	2	2		
	医学知識	2	2		
	認知症ケア概論Ⅰ	1	2		
	認知症ケア概論Ⅱ	3	2		
	障害児・者ソーシャルワーク論	2	2		
	リハビリテーション論	3	2		
	発達心理学	2	2		
	介護技術方法論Ⅰ	2	2		
	介護技術方法論Ⅱ	3	2		
	介護技術方法論Ⅲ	3	2		
ケ 医 療 的	医療的ケア論Ⅰ	3	2		
	医療的ケア論Ⅱ	4	2		
	医療的ケア演習	4	1		
単位数計	科目の区分「介護」「医療的ケア」に関する科目は介護福祉士課程以外の卒業要件には含まれない。		89	0	

	ただし、※の科目を除く。	89	
--	--------------	----	--

別表第4（第24条関係）

（1）専門教育科目（社会学部 社会情報学科）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
学 部 共 通 科 目	現代の社会 1	1		2	3科目6単位 選択必修
	現代の社会 2	2		2	
	現代の社会 3	1		2	
	現代の社会 4	2		2	
科 基 目 幹	社会情報学入門 1	1	2		
	社会情報学入門 2	1	2		
	社会情報学入門 3	1	2		
	社会情報学入門 4	1	2		
	社会心理・コミュニケーション入門	1	2		
	生活創造入門	1	2		
	社会デザイン入門	1	2		
	マーケティング・ブランド入門	1	2		
社 会 情 報 学 コ ア 方 法 論	社会調査の基礎	1		2	いずれか 選択必修
	社会調査法	1		2	
	社会情報学方法演習 1	1		2	3科目6単位 選択必修
	社会情報学方法演習 2	2		2	
	社会情報学方法演習 3	1		2	
	社会情報学方法演習 4	2		2	
	社会情報学方法演習 5	1		2	
	社会情報学方法演習 6	2		2	
	プレゼンテーション演習	2		2	
	メディアデザイン	2		2	
	AIデータサイエンス 1	1		2	
	AIデータサイエンス 2	2		2	
	AIデータサイエンス 3	2		2	
	AIデータサイエンス 4	3		2	
	社会統計学	2		2	
データ分析アドバンス	2		2		
社会調査総合実習	3		4		
社 会 心 理	社会認識の科学（認知心理学）	1		2	
	非言語情報とコミュニケーション	1		2	
	集団心理	2		2	

ヨ・ ンコ 系ミ 列ユ ニ ケ ー	メディア・ネットと社会情報	2	2	
	社会ネットワーク論	2	2	
	対人心理とコミュニケーション	2	2	
	社会現象の心理学	2	2	
	つながりの心理・行動と社会問題	3	2	
	社会心理分析演習	3	2	

生 活 創 造 系 列	ファッションビジネス論	1	2	
	ライフスタイルと健康	1	2	
	空間プロデュース論	1	2	
	衣生活調査演習	2	4	
	フードサイエンス演習	2	4	
	デザイン企画演習	2	4	
	食環境論	3	2	
	装いの心	3	2	
	デザイン表現論	3	2	
社 会 デ ザ イ ン 系 列	環境と社会	1	2	
	社会生活とリスク	1	2	
	ボランティア活動入門A	2	2	
	ボランティア活動入門B	2	2	
	社会思想と倫理	2	2	
	消費社会のデザイン	2	2	
	都市環境デザイン論	2	2	
	社会デザイン企画演習	3	2	
	都市環境デザイン演習	3	2	
社会デザイン広報演習	3	2		
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ ブ ラ ン	ブランド戦略基礎	1	2	
	サービスマーケティング	1	2	
	消費者行動論	2	2	
	ファッションブランド・ケーススタディ	2	2	
	小売マーケティング	2	2	
	製品戦略演習	2	2	
	ブランド戦略演習	3	2	
	グローバルマーケティング	3	2	
	デジタルマーケティング	3	2	
発 展 科 目	コミュニケーションデザイン	3	2	4科目8単位 選択必修
	生活デザインと社会	3	2	
	社会デザインの理論	3	2	
	マーケティングケース分析	3	2	
	ソーシャルビジネス論	2	2	
	アート・カルチャーとデザイン	2	2	

	AIと人間・社会	2		2	
	データ社会論	3		2	
	ポジティブ社会心理学	3		2	
臨地研修	臨地研修（短期）	2		2	
	臨地研修（長期）	2		4	
卒業セミナー 研究	社会情報専門セミナーA	3	1		
	社会情報専門セミナーB	3	1		
	社会情報特別セミナーA	4	1		
	社会情報特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4	4		
単位数計	<卒業要件>				
	専門教育科目	84単位以上	24	148	
	自由選択科目	12単位まで			
	合計	96単位以上	172		

別表第4（第24条関係）

（1）専門教育科目（社会学部 地域社会学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
学部 共通 科目	現代の社会1	1		2	2科目4単位 選択必修	
	現代の社会2	2		2		
	現代の社会3	1		2		
	現代の社会4	2		2		
基 幹 科 目	地域社会を考える	1	2		観光・まちづくり コースのみ履修可（必 修）	
	フィールドスタディの方法1	1	2			
	フィールドスタディの方法2	1	2			
	フィールドスタディの方法3	1		2		
	フィールドスタディの方法4	1		2		
	地域社会学基礎演習1	1	2			
地域社会学基礎演習2	1	2				
形 成 科 目	共通 科目 形 成	社会学	1	2	地域・ひとづくり コースは3科目6単位 選択必修	
		地域社会学応用演習Ⅰ	2	2		
		地域社会学応用演習Ⅱ	2	2		
	地域 ス・ 形	カルチュラル・スタディーズ概論	1			2
		ダイバーシティ社会論	1			2

成と 科づ 目く り コ ー ス	日本民俗学	1	2	
	環境倫理学	1	2	
	社会教育論	1	2	
	社会調査法	1	2	
コ観 光 ス・ 形ま 成ち 科づ 目く り	観光学入門	1	2	観光・まちづくり コースは3科目6単位 選択必修
	観光とソーシャルビジネス	1	2	
	日本のまちづくり	1	2	
	世界のまちづくり	1	2	
	都市デザイン論	1	2	
	公共の哲学	1	2	

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
展 開 科 目	開共 科通 目展	地域社会創造演習Ⅰ	3	2	
		地域社会創造演習Ⅱ	3	2	
地 域 ・ ひ と づ く り コ ー ス 展 開 科 目	人文地理学概説	1		2	地域・ひとづくり コースは10科目20単 位選択必修
	地誌	2		2	
	都市民族誌	3		2	
	日本の歴史と史料	1		2	
	江戸東京学	2		2	
	文化財学	3		2	
	移民論	1		2	
	ラテンアメリカ地域論	2		2	
	多文化社会の宗教	3		2	
	地域政策の開発	1		2	
	社会学説史	2		2	
	公共経済論	2		2	
	多文化社会と法	3		2	
	生涯学習概論	1		2	
	博物館概論	2		2	
博物館教育論	2		2		
博物館経営論	3		2		
観 光 ・ ま ち	観光まちづくり論	2		2	観光・まちづくりコ ースは「観光まちづ くり論」「観光ホス ピタリティ論」を含
	観光ホスピタリティ論	3		2	
	観光地理学	2		2	
	観光とメディア	2		2	

づくりコース展開科目	観光と宗教	3		2	む10科目20単位選択必修
	観光と国際協力	3		2	
	観光施設経営論	3		2	
	プロデュース論	2		2	
	地域社会とボランティア	2		2	
	男女共同参画社会論	2		2	
	現代コミュニティ論	3		2	
	国際関係論	2		2	
	日本の生活と文化	2		2	
	ヨーロッパ政治史	2		2	
	イスラムの文化と歴史	2		2	
	アジア関係史	2		2	
	アジア地域論	3		2	
	経済地理学	2		2	
	平和学	3		2	
	観光・まちづくりケーススタディⅠ	3		2	
観光・まちづくりケーススタディⅡ	3		2		
研臨 修地	臨地研修（短期）	2		2	
	臨地研修（長期）	2		4	
卒セ 業ミ 研ナ 究 ・	地域社会特別セミナーA	4	1		
	地域社会特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4	4		
単位数計	<卒業要件> 専門教育科目 80単位以上 自由選択科目 16単位まで 合計 96単位以上		26	118	
			144		

別表第4（第24条関係）

（2）教職に関する科目（社会学部 地域社会学科）

授業科目 の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
共通	教職入門（中・高）※2	1	2		
	教育原理（中・高）※2	1	2		
	教育学概論※2	1		2	
	教育心理学（中・高）※2	1	2		
	教育の制度と経営（中・高）※2	2	2		
	特別支援教育論（中・高）※2	2	2		
	教育課程論（中・高）※2	2	2		
	中等教科教育法（社会・地歴）	3		2	中、高地歴免必修
	地歴科教育法	3		2	

	中等教科教育法（社会・公民）	3		2	中、高公民免必修
	公民科教育法	3		2	
	道徳教育（中学校）※2	1		2	中免必修
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法（中・高）※2	2	2		
	教育方法論（小・中・高）※1	2	2		
	ICT 活用の理論と方法（小・中・高）※1	2	2		
	生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）※2	2	2		
	教育相談（カウンセリングを含む）※2	2	2		
	介護等体験実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）※2	3	2		
	教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）※2	4		5	※3
	教育実習 小・中学校（事前事後指導含む）※1	4		5	
	教職実践演習（中・高）※2	4	2		
単位数計	教職に関する科目は、卒業要件には含まれない。			2	2
				6	2
				4	8

※1 児童教育学科、地域社会学科、英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科において共通開設科目である。

※2 地域社会学科、英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科において共通開設科目である。

※3 中・高教職免許取得者は、教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）を必修、小学校2種免許取得希望者は、教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）及び教育実習 小・中学校（事前事後指導含む）を必修とする。

別表第5（第24条関係）

（1）専門教育科目（メディア学部 メディア学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
学部基礎科目	メディアとモラル	1	2		必修以外に 4単位選択必修
	メディア学基礎A	1	2		
	メディア学基礎B	1	2		
	メディア情報概論	1	2		
	コミュニケーション概論	1		2	
	メディア・リテラシー概論	1		2	
	デザイン論	2	2		
	メディア調査法	2	2		
	メディア発達史	2	2		
	ICTと現代社会	2		2	
	メディアとビジネス	2		2	
方法科目	メディア表現技法A	1	2		必修以外に 10単位選択必修
	メディア表現技法B	1	2		

		クリエイティブ演習	1		2	
		メディア取材法	2		2	
		映像制作入門	2		2	
		写真撮影技法	2		2	
		編集技法Ⅰ	2		2	
		編集技法Ⅱ	2		2	
		アンケート調査演習	2		2	
		メディア身体表現	2		2	
		アンケート分析演習	3		2	
		デジタル・プレゼンテーションA	3		2	
		デジタル・プレゼンテーションB	3		2	
		メディア文章表現	3		2	
展開 科目	メディア社会分野	メディア社会論A *	1		2	6分野から2分野を選択。 各分野*を付した10単位は選択必修
		メディア社会論B *	2		2	
		メディア社会論C	2		2	
		ジャーナリズム論A *	1		2	
		ジャーナリズム論B	3		2	
		ジャーナリズム論C	3		2	
		メディアと社会心理 *	2		2	
		出版メディア論A *	2		2	
		出版メディア論B	3		2	
	多文化共生とメディア	3		2		
	メディア文化分野	広告論A *	1		2	
		広告論B *	2		2	
		広告論C	3		2	
		放送論 *	1		2	
		コンテンツ産業論 *	2		2	
		メディア文化論A *	2		2	
		メディア文化論B	3		2	
		広告・PR論	2		2	
		サブカルチャー論A	3		2	
		サブカルチャー論B	3		2	
		ラジオ番組論	3		2	
		広告表現演習	3		2	
	インタラクティブメディア分野	イベント概論 *	1		2	
		インターネット・コミュニケーション論 *	1		2	
		メディアプロモーション論 *	2		2	
		情報社会論 *	2		2	

	地域メディア論A *	2	2
	地域メディア論B	3	2
	イベントプロデュース論	2	2
	イベント制作演習	3	2
	コミュニケーションデザイン	3	2
メディアクリエーション分野	アニメーション論 *	1	2
	造形入門 *	1	2
	デザイン演習Ⅰ *	2	2
	デザイン演習Ⅱ	3	2
	写真論 *	2	2
	美術史 *	2	2
	アニメーション制作演習Ⅰ	2	2
	アニメーション制作演習Ⅱ	2	2
	アニメーション制作演習Ⅲ	3	2
	アニメーション制作応用演習	3	2
	サウンド制作演習	3	2
	サウンド分析演習	3	2
	メディアアート	3	2
映像表現分野	映画論 *	1	2
	映像表現論 *	1	2
	映像制作演習Ⅰ *	2	2
	映像制作演習Ⅱ *	2	2
	映像制作演習Ⅲ *	2	2
	映像制作演習Ⅳ	3	2
	ショートフィルム論A	2	2
	ショートフィルム論B	3	2
	映像制作応用演習	3	2
	映像制作技術論	3	2
	映像表現技法	3	2
情報デザイン分野	WebデザインⅠ *	1	2
	WebデザインⅡ	2	2
	メディア情報論 *	1	2
	インタフェース論 *	2	2
	プログラミング基礎 *	2	2
	情報ネットワーク論 *	2	2
	プログラミング応用	2	2
	アプリケーション開発Ⅰ	3	2
	アプリケーション開発Ⅱ	3	2
	システム構築演習	3	2
	デジタル・アーカイブ論	3	2
	デジタルコンテンツ開発Ⅰ	3	2

		デジタルコンテンツ開発Ⅱ	3		2	
社会連携プログラム		メディア学専門セミナーA	3	2		
		メディア学専門セミナーB	3	2		
		メディア学特別セミナーA	4	2		
		メディア学特別セミナーB	4	2		
		社会調査演習Ⅰ	3		2	
		社会調査演習Ⅱ	3		2	
		社会連携特講A	3		2	
		社会連携特講B	3		2	
		インターンシップ入門	3		2	
		インターンシップ(短期)	3・4		2	
	インターンシップ(長期)	3・4		4		
卒業研究		卒業研究	4	4		
単位数計	<卒業要件>			3	18	
	専門教育科目	86単位以上		0	4	
	自由選択科目	10単位				
	合計	96単位以上		21	4	

別表第6 (第24条関係)

(1) 専門教育科目(経営学部 経営学科)

授業科目の区分		授業科目	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
入門科目		経営学入門	1	2		
		現代企業入門	1	2		
		マーケティング入門	1	2		
		会計学入門	1	2		
専門基礎科目	経営管理分野	経営戦略論	1	2		
		競争戦略論	2		2	
		ミクロ組織論	1	2		
		マクロ組織論	2		2	
	マーケティング分野	流通論	1	2		
		マーケティング戦略	2		2	
会計学分野	会社と簿記(初級)	1	2			
	会社と簿記(中級)	2		2		

授業科目の区分		授業科目	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
展開科目	経営管理分野	マネジメント論	2		2	経営管理分野から2科目4単位選択必修
		経営イノベーション論	2		2	
		国際経営論	2		2	
		技術と経営	2		2	

	サービス・マネジメント	2		2	
	リーダーシップ論	2		2	
	ベンチャービジネス論	3		2	
	生産管理論	3		2	
	品質管理論	3		2	
	人的資源管理論	3		2	
	組織心理学	3		2	
	経営史	3		2	
マーケティング分野	マーケティング・コミュニケーション論	2		2	マーケティング分野から2科目4単位選択必修
	消費者行動論	2		2	
	消費者心理学	2		2	
	物流論	2		2	
	ブランド論	3		2	
	商業経営論	3		2	
	商品企画	3		2	
	デジタル・マーケティング	3		2	
	グローバル・マーケティング	3		2	
	eコマース論	3		2	
会計学分野	財務諸表論	2		2	会計学分野から2科目4単位選択必修
	商業簿記	2		2	
	企業ファイナンス	2		2	
	経営財務論	2		2	
	原価計算論	2		2	
	工業簿記	2		2	
	意思決定会計論	3		2	
	業績評価会計論	3		2	
	国際会計論	3		2	
	監査論	3		2	

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
経営総合科目	マクロ経済学	1		2	
	ミクロ経済学	2		2	
	現代経済学A	2		2	
	現代経済学B	3		2	
	ビジネス法	1		2	
	租税法A	2		2	
	租税法B	2		2	
	企業法	3		2	
	ビジネス統計	2		2	

	情報リテラシーA	2		2	
	情報リテラシーB	2		2	
	データサイエンス	3		2	
	WEBデザイン	3		2	
	情報社会と倫理	3		2	
マネジメント演習	ビジネスゲーム演習	2	2		
	マネジメント実践演習	3		2	
	企業ファイナンス実践演習	3		2	
	経営分析実践演習	3		2	
	スタートアップ実践演習	3		2	
	eコマース実践演習	3		2	
	ビジネス探求A	3		2	
	ビジネス探求B	3		2	
	ビジネス探求C	3		2	
	ビジネス探求D	3		2	
セミナー・卒業研究	経営学専門セミナーA	3	1		
	経営学専門セミナーB	3	1		
	経営学特別セミナーA	4	1		
	経営学特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4	4		
単位数計	〈卒業要件〉		26	118	
	専門教育科目	84単位以上			
	自由選択科目	12単位まで	144		
	合計	96単位以上			

別表第7（第24条関係）

（1）専門教育科目（外国語学部 英米語学科）

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
カ学 リ部 キコ ュア ラ・ ム	世界の諸言語	1	2		
	言語学概論	1	2		
	音声学概説	1		2	2科目4単位 選択必修
	比較文化概説	1		2	
	危機管理論	1		2	
国際関係論概説	1		2		
学 部 共	東アジアの社会と文化	1		2	3科目6単位 選択必修
	欧米の社会と文化	1		2	
	日本語・日本文化論	1		2	
	ダイバーシティマネジメント	1		2	
	交渉コミュニケーション論	1		2	

通 科 目		心理言語学入門	2	2			
		社会言語学入門	2	2			
		第二言語習得論	2	2			
		グローバル・ビジネス入門	2	2			
		現代グローバル・イシュー概説	2	2			
		多文化関係論	2	2			
分 野 別 科 目	英 語 学 分 野	Communicative Grammar & Writing	1	2			
		英語音声学	1	2			
		英語学概論	2	2			
		語用論	2		2		
		英文法概論	2		2		
		英語学演習	3		1		
	文 英 化 米 論 文 分 野・	異文化コミュニケーション	1		2		
		英語文学講読	2		2		
		英語文学史	2		2		
		英米の言語と文化	2		2		
		比較文化論	2		2		
		英語文学演習	3		1		
	英 語 教 育 学 分 野	英語教育学概論	1		2		
		英語教育学演習	2		1		14単位以上 選択必修
		English Education for Young Learners	3		2		
	ビ ジ ネ ス 英 語 分 野	Business Communication	1		2		
		English for Tourism	1		2		
		ビジネス英語概論	2		2		
		English in the Media	2		2		
Global Perspectives through English		2		2			
Business Writing		3		2			
Discussion and Negotiation		3		2			
ビジネス英語演習		3		1			

授業科目 の区分	授業科目	年配 次当	単位数		備考
			必修	選択	
英 語 基 礎 力 育	Core Program 1 A (Oral Communication)	1	2		
	Core Program 1 B (Oral Communication)	1	2		
	Core Program 2 A (Listening)	1	2		
	Core Program 2 B (Listening)	1	2		
	Core Program 3 A (Reading)	1	2		

成 科 目	Core Program 3 B (Reading)	1	2		
	Core Program 4 A (Writing)	1	2		
	Core Program 4 B (Writing)	1	2		
	Oral Interpretation	1		1	2科目2単位 以上選択必修
	Oral Presentation	1		1	
	Proficiency Tests Preparation	1		1	
English Data Processing	1		1		
科準留 目備学	Power English 1	2		2	
科留 目学	Power English 2	2		1 4	
	Action English	2		6	
高 度 英 語 力 育 成 科 目	Core Program 5 (Discussion and Debate)	3	2		
	Core Program 6 (Advanced Listening Skills)	2	2		
	Core Program 7 (Presentation Skills)	2	2		
	Core Program 8 (Academic Reading and Writing)	3	2		
	Advanced English Reading	2		2	
	Topic Studies 1	3		1	4科目4単位 以上選択必修
	Topic Studies 2	2		1	
	Topic Studies 3	3		1	
	Topic Studies 4	2		1	
	Topic Studies 5	3		1	
	Topic Studies 6	2		1	
	Topic Studies 7	3		1	
	Topic Studies 8	2		1	
	Topic Studies 9	3		1	
Topic Studies 10	2		1		
Topic Studies 11	3		1		
Topic Studies 12	2		1		
研臨 修地	臨地研修 1	2		2	
	臨地研修 2	2		4	
卒セ 業ミ 研ナ 究 ・	英米語専門セミナーA	3	1		
	英米語専門セミナーB	3	1		
	英米語特別セミナーA	4	1		
	英米語特別セミナーB	4	1		
	卒業研究	4	4		
単位数計	<卒業要件>			1 1	
	専門教育科目	90単位以上	4 2	2	
	自由選択科目	12単位まで			
	合 計	102単位以上	1 5 4		

別表第7 (第24条関係)

(1) 専門教育科目 (外国語学部 中国語学科)

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
カ学 リ部 キコ ユア ラ・ ム	世界の諸言語	1		2	6単位 選択必修
	言語学概論	1		2	
	音声学概説	1		2	
	比較文化概説	1		2	
	危機管理論	1		2	
	国際関係論概説	1		2	
学 部 共 通 科 目	東アジアの社会と文化	1		2	10単位 選択必修
	欧米の社会と文化	1		2	
	日本語・日本文化論	1		2	
	ダイバーシティマネジメント	1		2	
	交渉コミュニケーション論	1		2	
	心理言語学入門	2		2	
	社会言語学入門	2		2	
	第二言語習得論	2		2	
	グローバル・ビジネス入門	2		2	
	現代グローバル・イシュー概説	2		2	
多文化関係論	2		2		
中国 語 基 礎 力 育 成 科 目	中国語 1 A (作文)	1	2		
	中国語 1 B (作文)	1	2		
	中国語 2 A (読解)	1	2		
	中国語 2 B (読解)	1	2		
	中国語 3 A (会話)	1	2		
	中国語 3 B (会話)	1	2		
中国 語 基 礎 力 強 化 科 目	中国語 4 A (作文)	2	2		
	中国語 4 B (作文)	2	2		
	中国語 5 A (読解)	2	2		
	中国語 5 B (読解)	2	2		
	中国語 6 A (会話)	2	2		
	中国語 6 B (会話)	2	2		

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当	単位数	備 考
-------------	---------	--------	-----	-----

			年次	必修	選択	
分野別科目	学中 分国 野語	中国語学概論 A	2		2	18単位選択必修 (8単位を上限に留 学科目による振替も 可)
		中国語学概論 B	2		2	
	学中 分国 野文	中国現代文学	2		2	
		中国古典文学	2		2	
	中国 事情 分野	中国の文化	2		2	
		中国の歴史	2		2	
		中国の思想	2		2	
		中国の政治	2		2	
		中国の社会	2		2	
		中国の経済	2		2	
日中経営管理論		2		2		
日中企業比較論		2		2		
留 学 目 準 備	現代中国入門 A	1	2			
	現代中国入門 B	1	2			
	中国近現代史	1	2			
留 学 科 目	中国留学 1	2		4	4単位選択必修	
	中国留学 2	2		4		
	中国留学 3	2		4		
	中国留学 4	2		4		
	中国留学 5	2		4		
	中国留学 6	2		4		
	中国留学 7	2		4		
	中国留学 8	2		4		
高 度 中 国 語 力 育 成 科 目	時事中国語 A	3		1	14単位 選択必修	
	時事中国語 B	3		1		
	ビジネス中国語 A	3		1		
	ビジネス中国語 B	3		1		
	日中翻訳 A	3		1		
	日中翻訳 B	3		1		
	中日翻訳 A	3		1		
	中日翻訳 B	3		1		
	中国語プレゼンテーション演習 A	3		1		
	中国語プレゼンテーション演習 B	3		1		
資 格 支 援 科	検定中国語 1 A	1		1		
	検定中国語 1 B	1		1		
	検定中国語 2 A	2		1		
	検定中国語 2 B	2		1		

目	検定中国語 3 A	2		1
	検定中国語 3 B	2		1
	通訳ガイド中国語 A	3		1
	通訳ガイド中国語 B	3		1
隣地研修	臨地研修 1	1		2
	臨地研修 2	1		2
卒業セミナー 研究	中国語専門セミナー A	3	1	
	中国語専門セミナー B	3	1	
	中国語特別セミナー A	4	1	
	中国語特別セミナー B	4	1	
	卒業研究	4	4	
単位数計	<卒業要件> 専門教育科目 90単位以上 自由選択科目 12単位まで 合計 102単位以上		38	112
			150	

別表第7 (第24条関係)

(1) 専門教育科目 (外国語学部 韓国語学科)

授業科目の区分	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
カ学 リ部 キコ ユア ラ・ ム	世界の諸言語	1		2	6科目12単位 以上選択必修
	言語学概論	1		2	
	音声学概説	1		2	
	比較文化概説	1		2	
	危機管理論	1		2	
	国際関係論概説	1		2	
学 部 共 通 科 目	東アジアの社会と文化	1		2	
	欧米の社会と文化	1		2	
	日本語・日本文化論	1		2	
	ダイバーシティマネジメント	1		2	
	交渉コミュニケーション論	1		2	
	心理言語学入門	2		2	
	社会言語学入門	2		2	
	第二言語習得論	2		2	
	グローバル・ビジネス入門	2		2	
	現代グローバル・イシュー概説	2		2	
多文化関係論	2		2		
専門	韓国語基礎会話	1	2		
	韓国語応用会話	1	2		

基礎科目	韓国語基礎文法	1	2		
	韓国語応用文法	1	2		
	韓国語基礎聴解	1	2		
	韓国語応用聴解	1	2		
	韓国語基礎作文	1	1		
	韓国語応用作文	1	1		
	検定韓国語演習	1		1	11単位以上 選択必修 (韓国留学8～ 12を算入可能)
韓国現代文学	1		2		
韓国現代文化	1		2		
韓国近代思想	1		2		
韓国伝統思想	1		2		
韓国現代社会	1		2		
事韓 情国	韓国事情A(総合)	1	2		
	韓国事情B(総合)	1	2		

授業科目 の区分	授業科目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
留 学 科 目	韓国留学1	2		4	
	韓国留学2	2		4	
	韓国留学3	2		4	
	韓国留学4	2		4	
	韓国留学5	2		4	
	韓国留学6	2		4	
	韓国留学7	2		4	
	韓国留学8	2		4	
	韓国留学9	2		4	
	韓国留学10	2		4	
	韓国留学11	2		4	
	韓国留学12	2		4	
専 門 深 化 科 目	韓日通訳演習	3		1	23単位以上 選択必修 (韓国留学1～7を 算入可能)
	日韓通訳演習	3		1	
	韓日翻訳演習	3		1	
	日韓翻訳演習	3		1	
	韓国語表現演習	3		1	
	韓国語文法演習	3		1	
	ビジネス韓国語演習	3		1	
	情報リテラシー韓国語演習	3		1	
	韓国漢字漢語演習	3		1	
	韓国漢文演習	3		1	
	TOPIK分析	3		1	

	韓国語学概論 A	3		2	
	韓国語学概論 B	3		2	
	韓国古典文学	3		2	
	韓国伝統文化	3		2	
	韓国史 A	3		2	
	韓国史 B	3		2	
教育 科目	韓国語科教育法 1	2		2	
	韓国語科教育法 2	2		2	
	韓国語科教育法 3	2		2	
	韓国語科教育法 4	2		2	
	韓国語教育史	3		2	
	韓国語教育実習	4		1	

授業科目 の区分	授業科目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
臨 地 研 修	臨地研修 1	1		4	4 単位以上 選択必修
	臨地研修 2	1		2	
	臨地研修 3	2		4	
	臨地研修 4	2		2	
	臨地研修 5	3		1 6	
	臨地研修 6	3		1 6	
卒 業 ミ 研 究 ・	韓国語専門セミナー A	3	1		
	韓国語専門セミナー B	3	1		
	韓国語特別セミナー A	4	1		
	韓国語特別セミナー B	4	1		
	卒業研究	4	4		
単 位 数 計	<卒業要件>		2 6	1 7 1	
	専門教育科目	9 0 単位以上			
	自由選択科目	1 2 単位まで	1 9 7		
	合 計	1 0 2 単位以上			

別表第 7 (第 2 4 条関係)

(1) 専門教育科目 (外国語学部 日本語・日本語教育学科)

授業科目 の区分	授業科目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
カ 学 リ 部 キ コ ユ ア ラ	世界の諸言語	1		2	1 0 科目 2 0 単位 選択必修
	言語学概論	1		2	
	音声学概説	1		2	
	比較文化概説	1		2	

ム		危機管理論 国際関係論概説	1 1		2 2	
学 部 共 通 科 目		東アジアの社会と文化 欧米の社会と文化 日本語・日本文化論 ダイバーシティマネジメント 交渉コミュニケーション論 心理言語学入門 社会言語学入門 第二言語習得論 グローバル・ビジネス入門 現代グローバル・イシュー概説 多文化関係論	1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
分 野 別 科 目	日 本 語	日本語学概論A（文法）	1	2		13科目26単位 選択必修
		日本語学概論B（音韻・語彙）	1	2		
		日本語学概論C（語用論）	2		2	
		言語と心理（習得と喪失）	3	2		
		日本語史1	2	2		
		日本語史2	2		2	
	国 際 社 会 と 日 本	国際理解教育	1	2		
		在日外国人教育	3	2		
		地球時代の言語表現	2		2	
		日本外交史	3		2	
	地 域 社 会 言 語 と	日系人論	1	2		
		アジアの中の日本	1		2	
		外国教育概論	1		2	
ブラジルの言語と文化		2		2		
日 本 文 学	日本文学（上代）	1		2		
	日本文学（中古）	1		2		
	日本文学（中世）	2		2		
	日本文学（近世）	2		2		
	日本文学概論	1		2		
	日本文学史	2		2		
分 野 別	日 本 の 文 化 と	日本の民俗と文化	2	2		
		現代日本の文化と社会 1（日本文化）	3		2	
		現代日本の文化と社会 2（日本社会）	3		2	

科 目	社会	書道	2		2	
	多 文 化 共 生	異文化接触論	3	2		
		世界の中の日本語・日本文化	2		2	
		対人コミュニケーション演習	2		2	
		パフォーマンスアート演習	2		2	
	日 本 語 教 育	日本語学習支援論	1	2		
		日本語教育概論	1	2		
		年少者日本語教育	1	2		
		日本語教授法	2		2	
		日本語教育史	2		2	
		日本語教育特講 1 (評価)	3		2	
		日本語教育特講 2 (第二言語習得)	3		2	
	日本語教育実習	3		3		
臨 地 研 修	臨地研修 1 (国内短期)	2		2	合計 6 単位まで履修可	
	臨地研修 2 (国外短期)	2		2		
	臨地研修 3 (国内長期)	2		4		
	臨地研修 4 (国外長期)	2		4		
卒 業 ミ 研 究 ・	日本語・日本語教育専門セミナーA	3	1			
	日本語・日本語教育専門セミナーB	3	1			
	日本語・日本語教育特別セミナーA	4	1			
	日本語・日本語教育特別セミナーB	4	1			
	卒業研究	4	4			
単 位 数 計	<卒業要件>			3 2	9 5	
	専門教育科目	8 4 単位以上				
	自由選択科目	1 2 単位まで		1 2 7		
	合 計	9 6 単位以上				

別表第 7 (第 2 4 条関係)

(2) 教職に関する科目 (外国語学部 英米語学科 中国語学科 日本語・日本語教育学科)

授業科目 の 区 分	授 業 科 目	配 当 年 次	単 位 数		備 考
			必 修	選 択	
共 通	教職入門 (中・高) ※ 3	1	2		
	教育原理 (中・高) ※ 3	1	2		
	教育学概論 ※ 3	1		2	
	教育心理学 (中・高) ※ 3	1	2		
	教育の制度と経営 (中・高) ※ 3	2	2		
	特別支援教育論 (中・高) ※ 3	2	2		
	教育課程論 (中・高) ※ 3	2	2		
	英語科教育法 1	3		2	中・高英免必修

	英語科教育法 2	3		2	
	英語科教育法 3	3		2	
	英語科教育法 4	3		2	
	初等・中等教科教育法（外国語（英語））※2	3		2	
	中国語科教育法 1	3		2	中・高中国免必修
	中国語科教育法 2	3		2	
	中国語科教育法 3	3		2	
	中国語科教育法 4	3		2	
	国語科教育法 1	3		2	中・高国免必修
	国語科教育法 2	3		2	
	国語科教育法 3	3		2	
	国語科教育法 4	3		2	
	道徳教育（中学校）※3	1		2	中免必修
	特別活動・総合的な学習の 時間の理論と方法（中・高）※3	2	2		
	教育方法論（小・中・高）※1	2	2		
	ICT 活用の理論と方法（小・中・高）※1	2	2		
	生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）※3	2	2		
	教育相談（カウンセリングを含む）※3	2	2		
	介護等体験実習 中学・高等学校（事前事後指導 含む）※3	3	2		
	教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む） ※3	4		5	※4
	教育実習 小・中学校（事前事後指導含む）※1	4		5	
	教職実践演習（中・高）※3	4	2		
単位数計	教職に関する科目は、卒業要件には含まれない。			26	40
				66	

※1 児童教育学科、地域社会学科、英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科において共通開設科目である。

※2 児童教育学科、英米語学科において共通開設科目である。

※3 地域社会学科、英米語学科、中国語学科、日本語・日本語教育学科において共通開設科目である。

※4 中・高教職免許取得者は、教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）を必修、小学校2種免許取得希望者は、教育実習 中学・高等学校（事前事後指導含む）及び教育実習 小・中学校（事前事後指導含む）を必修とする。

別表第8（第24条関係）

（1）専門教育科目（保健医療学部 理学療法学科）

授業科目 の区分	授業科目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
専 門	医療と福祉	1	2		
	人間発達学	1	2		

基 礎 科 目	解剖学	1	2	
	解剖学実習	1	2	
	生理学	1	2	
	生理学実習	1	2	
	運動学Ⅰ	1	1	
	運動学Ⅱ	2	1	
	運動学実習	2	1	
	リハビリテーション概論	1	2	
	病理学	2	1	
	整形外科	2	2	
	臨床医学総論	2	1	
	内科学	2	1	
	神経内科学	2	2	
	小児科学	2	1	
	精神医学	2	2	
	リハビリテーション医学	3	1	
	老年医学	2	1	
	臨床心理学	2	2	
	高齢者・障害者の心理	1		2
	高齢者・障害者福祉論	1		2
	薬理学	2		1
	微生物学	2		1
	栄養学	2		1
	スポーツ障害学	2・3		1
	救急医学	2		1
	衛生・公衆衛生学	2		1
	安全管理論	3		1
	関連法規	3		1
	言語聴覚療法学	2		1
	介護福祉論	1		1

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
理 学 療 法	理学療法概論	1	2		必修59単位を含む 64単位以上修得
	理学療法演習Ⅰ（基礎文献講読）	1	2		
	理学療法演習Ⅱ（臨床文献講読）	2		2	
	基礎理学療法学演習	3	2		
	運動生理学	2	1		
	臨床運動学	3		2	
	理学療法管理学	3	2		

専 門 科 目	理学療法評価学Ⅰ	2	2	
	理学療法評価学Ⅱ	2	2	
	理学療法評価学Ⅲ	2	2	
	物理療法学	2	1	
	物理療法学実習	2	1	
	運動療法学	2	1	
	運動療法学実習	2	1	
	義肢装具学	3	1	
	義肢装具学演習	3	1	
	運動器系疾患理学療法学	3	2	
	運動器系疾患理学療法学演習	3	1	
	内科系疾患理学療法学	3	2	
	内科系疾患理学療法学演習	3	1	
	神経系疾患理学療法学	3	2	
	神経系疾患理学療法学演習	3	1	
	小児疾患理学療法学	3	1	
	小児疾患理学療法学演習	3		1
	日常生活活動学	3	1	
	日常生活活動学実習	3		1
	福祉機器論	3		1
	高齢者理学療法学	3	1	
	地域理学療法学	3	2	
	地域理学療法学演習	3	1	
	理学療法技術特講	3		2
	臨床理学療法学実習	3	1	
	理学療法研究法	3		1
	見学実習	2	1	
	評価実習	3	4	
	総合臨床実習Ⅰ	4	7	
	総合臨床実習Ⅱ	4	7	
地域リハビリテーション実習	4	1		
チーム医療演習	3		1	
総合理学療法セミナー	4	2		
卒業研究	4		4	
単位数計	<卒業要件>		90	29
	専門教育科目	95単位以上		
	自由選択科目	5単位まで		
	合計	100単位以上	119	

別表第8（第24条関係）

（1）専門教育科目（保健医療学部 作業療法学科）

授業科目	授 業 科 目	配	単位数	備 考
------	---------	---	-----	-----

の 区 分		当 年 次	必 修	選 択	
専 門 基 礎 科 目	医療と福祉	1	2		
	人間発達学	1	2		
	解剖学	1	2		
	解剖学実習	1	2		
	生理学	1	2		
	生理学実習	1	2		
	運動学Ⅰ	1	1		
	運動学Ⅱ	2	1		
	運動学実習	2	1		
	リハビリテーション概論	1	2		
	病理学	2	1		
	整形外科学	2	2		
	臨床医学総論	2	1		
	内科学	2	1		
	神経内科学	2	2		
	小児科学	2	1		
	精神医学	2	2		
	リハビリテーション医学	3	1		
	老年医学	2	1		
	臨床心理学	2	2		
	高齢者・障害者の心理	1		2	
	高齢者・障害者福祉論	1		2	
	薬理学	2		1	
	微生物学	2		1	
	栄養学	2		1	
	スポーツ障害学	2・3		1	
	救急医学	2		1	
	衛生・公衆衛生学	2		1	
	安全管理論	3		1	
	関連法規	3		1	
言語聴覚療法学	2		1		
介護福祉論	1		1		

授業科目 の 区 分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
作 業	作業療法学概論	1	2		必修60単位を含む 63単位以上修得
	作業療法演習Ⅰ（論文講読）	1		1	
	作業療法演習Ⅱ（研究法）	3		1	

療
法
専
門
科
目

基礎作業学	1	2	
基礎作業学演習Ⅰ（陶芸・木工）	1		1
基礎作業学演習Ⅱ（手工芸・織物）	2		1
基礎作業学演習Ⅲ（余暇活動・リクリエーション）	2		1
日常生活適応学	2	2	
日常生活適応学演習	3	1	
義肢装具学	3		2
義肢装具学演習	3		1
共通基礎評価学	3	2	
身体機能作業療法評価学	2	2	
身体機能作業療法評価学演習	2	1	
身体機能作業療法治療学	3	2	
身体機能作業療法治療学演習	3	1	
高次神経機能作業療法学	3		2
精神機能作業療法評価学	2	2	
精神機能作業療法評価学演習	2	1	
精神機能作業療法治療学	3	2	
精神機能作業療法治療学演習	3	1	
小児期作業療法学	2	2	
小児期作業療法学演習	3	1	
高齢期作業療法学	3	2	
高齢期作業療法学演習	3	1	
地域作業療法学	3	2	
地域作業療法学演習	3		1
福祉機器論	3		2
作業療法特講	3		2
職業関連活動	3		1
リスク管理学	3	1	
作業療法管理学	3	2	
障害者スポーツ論	3		1
作業分析学	3		1
臨床実習特論Ⅰ	1	1	
レベル1臨床実習	1	1	
臨床実習特論Ⅱ	2	1	
レベル2臨床実習	2	4	
臨床実習特論Ⅲ	3	1	
レベル3臨床実習Ⅰ（身体・他領域）	3・4	8	
レベル3臨床実習Ⅱ（精神・他領域）	3・4	8	
レベル3臨床実習Ⅲ（地域領域）	4	2	
チーム医療演習	3		1
総合作業療法セミナー	4	2	

	卒業研究	4		4
単位数計	<卒業要件>		91	37
	専門教育科目 94単位以上 自由選択科目 6単位まで 合計 100単位以上		128	

別表第8（第24条関係）

（1）専門教育科目（保健医療学部 言語聴覚学科）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
専 門 基 礎 科 目	生理・解剖学	1	2		
	臨床医学総論	1	1		
	病理学	1	1		
	小児科学	1	1		
	耳鼻咽喉科学	2	2		
	内科学	2	1		
	臨床歯科医学	2	1		
	精神医学	2	2		
	形成外科学	2	1		
	神経内科学	2	2		
	リハビリテーション概論	1	2		
	リハビリテーション医学	2	1		
	音声・言語・聴覚医学（発声発語）	1	1		
	音声・言語・聴覚医学（聴覚）	1	1		
	音声・言語・聴覚医学（神経）	2	1		
	認知・学習心理学	1	2		
	心理測定法	1	1		
	臨床心理学	2	2		
	言語心理学	2	2		
	言語発達学	1	1		
	音声学	1	2		
	言語学	2	2		
	音響学Ⅰ	2	1		
	音響学Ⅱ	2	1		
	社会福祉・教育	3	1		
	医療と福祉	1			2
	介護福祉論	1			
高齢者・障害者福祉論	1			2	
高齢者・障害者の心理	1			2	
人間発達学	1			2	

	整形外科学	2		2	
	老年医学	2		1	
	救急医学	2		1	
	栄養学	2		1	
	薬理学	2		1	
	衛生・公衆衛生学	2		1	
	微生物学	2		1	
	安全管理論	3		1	
	関連法規	3		1	
言語聴覚専門科目	言語聴覚療法基礎演習	1	1		
	高次脳機能言語聴覚療法学	2	1		
	失語症学Ⅰ	2	1		
	失語症学Ⅱ	3	1		
	失語症学Ⅲ	3		1	
	高次脳機能言語聴覚療法学演習	3	1		
	失語症学演習Ⅰ	3	1		
	失語症学演習Ⅱ	3	1		
	発達期言語聴覚療法学 理論Ⅰ	2	1		
	発達期言語聴覚療法学 理論Ⅱ	3	1		
	発達期言語聴覚療法学 理論Ⅲ	3	1		
	発達期言語聴覚療法学 演習Ⅰ	2	1		
	発達期言語聴覚療法学 演習Ⅱ	2	1		
	発達期言語聴覚療法学 演習Ⅲ	3	1		
	発声発語リハビリテーション学Ⅰ	2	1		
	発声発語リハビリテーション学Ⅱ	2	1		
	発声発語リハビリテーション学Ⅲ	3	1		
	発声発語リハビリテーション学Ⅳ	3	1		
	発声発語リハビリテーション演習Ⅰ	2	1		
	発声発語リハビリテーション演習Ⅱ	2	1		
	発声発語リハビリテーション演習Ⅲ	3	1		
	発声発語リハビリテーション演習Ⅳ	3		1	
	摂食嚥下リハビリテーション学Ⅰ	2	1		
	摂食嚥下リハビリテーション学Ⅱ	3	1		
	摂食嚥下リハビリテーション演習Ⅰ	3	1		
	摂食嚥下リハビリテーション演習Ⅱ	3	1		
	聴覚リハビリテーション学Ⅰ	1	1		
	聴覚リハビリテーション学Ⅱ	2	1		
	聴覚リハビリテーション学Ⅲ	3	1		
	聴覚リハビリテーション演習Ⅰ	2	2		
聴覚リハビリテーション演習Ⅱ	3	1			
聴覚リハビリテーション演習Ⅲ	3	1			

	地域言語聴覚療法学	3	2	
	チーム医療演習	3		1
	言語聴覚療法管理学	3	2	
	総合言語聴覚療法学セミナー	4	4	
	臨床特講Ⅰ	2	1	
	臨床特講Ⅱ	2	1	
	臨床特講Ⅲ	3	1	
	臨床特講Ⅳ	3	2	
	臨床実習特講	4	1	
	基礎実習	2	1	
	評価実習	3	3	
	総合臨床実習Ⅰ	4	5	
	総合臨床実習Ⅱ	4	5	
	論文講読法	2		1
	卒業研究	4		4
単位数計	<卒業要件>	9 4	2 7	
	専門教育科目 9 4 単位以上			
	自由選択科目 4 単位まで			
	合 計 9 8 単位以上	1 2 1		

別表第9（第24条関係）

（1）専門教育科目（看護学部 看護学科）

授業科目 の区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単位数		備 考
			必 修	選 択	
人 間 理 解 領 域	解剖学	1	2		科目の後に ※を付した12科目21単位は「保健師課程」必修
	生理学	1	2		
	病理学	1	2		
	微生物学	1	1		
	栄養学	1	1		
	薬理学	1	1		
	医療概論	1	1		
	健康障害論Ⅰ（生命維持関連）	2	2		
	健康障害論Ⅱ（慢性・精神関連）	2	2		
	健康障害論Ⅲ（成長・発達関連）	2	2		
	高齢者・障害者の心理	1		1	
	臨床心理学	1		1	
	外見とケアの心理学	2		1	
社 会 連 携	公衆衛生学	1	1		
	看護倫理	2	1		
	看護に関係する法規	2	1		

領域	社会福祉学	2	1	
	保健統計学	2	2	
	医療福祉論 ※	1		2
	保健医療福祉行政論Ⅰ（健康と生活を守る法と制度） ※	2		2
	保健医療福祉行政論Ⅱ（地域ケアシステム） ※	4		1
	疫学 ※	3		2
看護の基礎領域	看護学概論	1	2	
	基礎看護学方法論Ⅰ（アセスメント技術）	1	2	
	基礎看護学方法論Ⅱ（日常生活援助技術）	1	2	
	基礎看護学方法論Ⅲ（診療に伴う援助技術）	1	2	
	基礎看護学方法論Ⅳ（技術の統合）	1	1	
	基礎看護学方法論Ⅴ（看護過程）	2	2	
看護の実践領域	地域・在宅看護学概論	1	1	
	地域・在宅看護学方法論	2	2	
	地域・在宅看護学方法演習	2	1	
	公衆衛生看護学概論	1	2	
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ（公衆衛生看護技術）	2	2	
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ（産業・学校保健活動）※	2		2
	公衆衛生看護学活動論Ⅲ（対象別公衆衛生看護活動）※	3		2
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ（地域診断）※	4		1
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ（実践方法）※	4		1
	公衆衛生看護管理論 ※	4		2
	成人看護学概論	1	1	
	成人看護学方法論Ⅰ（急性期ケア・回復期ケア）	2	2	
	成人看護学方法論Ⅱ（慢性期ケア・終末期ケア）	2	2	
	成人看護学方法演習	3	1	
	老年看護学概論	1	1	
	老年看護学方法論	2	2	
	老年看護学方法演習	2	1	
	小児看護学概論	2	1	
	小児看護学方法論	2	2	
	小児看護学方法演習	3	1	
	母性看護学概論	2	1	
	母性看護学方法論	2	2	
	母性看護学方法演習	3	1	
精神看護学概論	2	1		
精神看護学方法論	2	2		
精神看護学方法演習	3	1		
看	家族看護論	2	1	

護 の 統 合 領 域	看護研究	3	1				
	看護マネジメント論	3	1				
	チームケア論	3	1				
	卒業研究	4	2				
	統合看護演習	4	1				
	総合看護学セミナー	4	1				
	災害看護※	3		1			
	がん看護学	4		1			
	国際看護	4		1			
臨 地 実 習	看護の基礎	基礎看護学実習Ⅰ（アセスメント・日常生活援助）	1	1		注 この2科目は 「保健師課程」選択 者のみ履修可（必 修）	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	2	2			
	看護の 実践	地域・在宅看護学実習Ⅰ（コミュニティケア）	2	1			
		地域・在宅看護学実習Ⅱ（在宅ケア）	3	2			
		成人看護学実習Ⅰ（急性期ケア・回復期ケア）	3	3			
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期ケア・終末期ケア）	3	2			
		老年看護学実習Ⅰ（健康回復支援）	3	2			
		老年看護学実習Ⅱ（療養・生活支援）	3	2			
		小児看護学実習	3	2			
		母性看護学実習	3	2			
		精神看護学実習	3	2			
公衆衛生看護学実習Ⅰ（産業・学校保健活動） ※注	3		1				
公衆衛生看護学実習Ⅱ（地域保健活動）※注	4		4				
統合	統合看護実習	4	2				
単位数計	<卒業要件> 専門教育科目 94単位以上 自由選択科目 4単位まで 合計 98単位以上		94	26		保健師課程選択者は 専門科目(必修)を1 15単位修得するこ と	
			120				

別表第10（第38条関係）

項 目		金 額（円）		
検 定 料		35,000		
入 学 金		250,000		
授業料 (年額)	心理学部	1～4年次生	816,000	
	人間学部	人間福祉学科	1～4年次生	816,000
		子ども学科	1～4年次生	828,000
		児童教育学科	1～4年次生	828,000
	経営学部	1～4年次生	798,000	

	外国語学部	1～4年次生	828,000
	社会学部	社会情報学科	1～4年次生 805,800
		地域社会学科	1～4年次生 795,600
	メディア学部	1～4年次生	864,000
	保健医療学部	1～4年次生	1,020,000
	看護学部	1～4年次生	1,248,000
施設設備費(年額)	心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部、外国語学部		1～4年次生 280,000
	保健医療学部	理学療法学科	1年次生 390,000
			2～4年次生 440,000
		作業療法学科	1年次生 390,000
	2～4年次生 440,000		
言語聴覚学科	1年次生 390,000		
	2～4年次生 440,000		
看護学部	1年次生 300,000		
	2～4年次生 340,000		
実験実習費(年額)	保健医療学部、看護学部		110,000
休学在籍料(年額)			120,000

注) 1 大学入学共通テスト利用選抜の検定料は「13,000円」とする。

2 総合型選抜の検定料については、エントリー時に「10,000円」及び出願時に「25,000円」を分割徴収する。

3 外国人留学生特別選抜の検定料は、別途定める。

4 入学検定料優遇制度について、別途定める。

5 目白研心高等学校の校長推薦による本学入学に係る検定料は「15,000円」とする。

6 目白大学短期大学部の学長推薦による本学編入学に係る検定料は「15,000円」とする。

7 編入学生に係る入学金は「250,000円」とし、また施設設備費は、編入学生が在籍する年次と同年次に、1年次から継続在籍する学生に適用される額と同額とする。ただし、目白大学短期大学部を卒業した者が編入学する場合の入学金は、「125,000円」とする。

8 過去に目白大学又は目白大学短期大学部に入学金を払い入学した者が入学する際の入学金は「125,000円」とする。

9 目白研心高等学校卒業生が入学する際の入学金は「125,000円」とする。